



令和8年10月23日
道路局 高速道路課

スマートインターチェンジの 高速道路会社への事業許可および準備段階調査着手について ～スマートインターチェンジの新規事業化箇所を決定しました～

国土交通省は、スマートインターチェンジ2箇所について、本日付で高速道路会社へ事業許可を行いました。

あわせて、新たにスマートインターチェンジ3箇所の準備段階調査に着手することとしました。

別添①：スマートインターチェンジの検討・整備について

別添②：スマートインターチェンジの高速道路会社への事業許可

別添③：スマートインターチェンジ新規事業化箇所の整備効果

別添④：スマートインターチェンジの新規準備段階調査着手箇所

参 考：スマートインターチェンジの整備

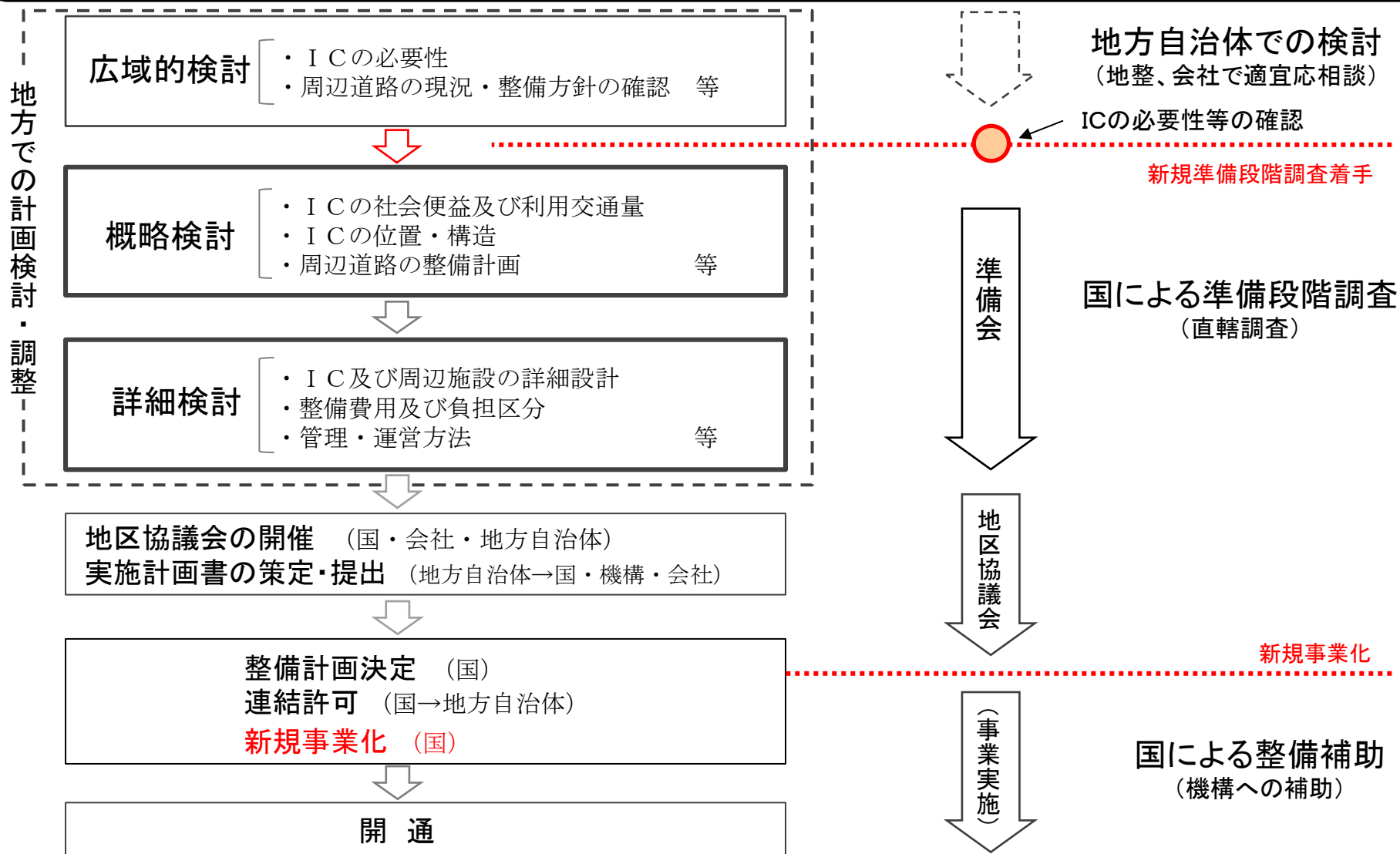
<問い合わせ先>

道路局 高速道路課 松村（内線 38362）、梅澤（内線 38342）

代表：03-5253-8111 直通：03-5253-8500



- スマートICの準備段階（地方での計画検討・調整段階）において、国として必要性が確認できる箇所等について、箇所を選定し、国が調査（直轄調査）を実施（準備段階調査）。
- 準備段階調査における準備会での検討や調整が整い、関係機関で構成される地区協議会で決定された実施計画書が提出された箇所につき新規事業化。



スマートインターチェンジの高速道路会社への事業許可

別添②

スマートインターチェンジ※¹の新規事業化箇所

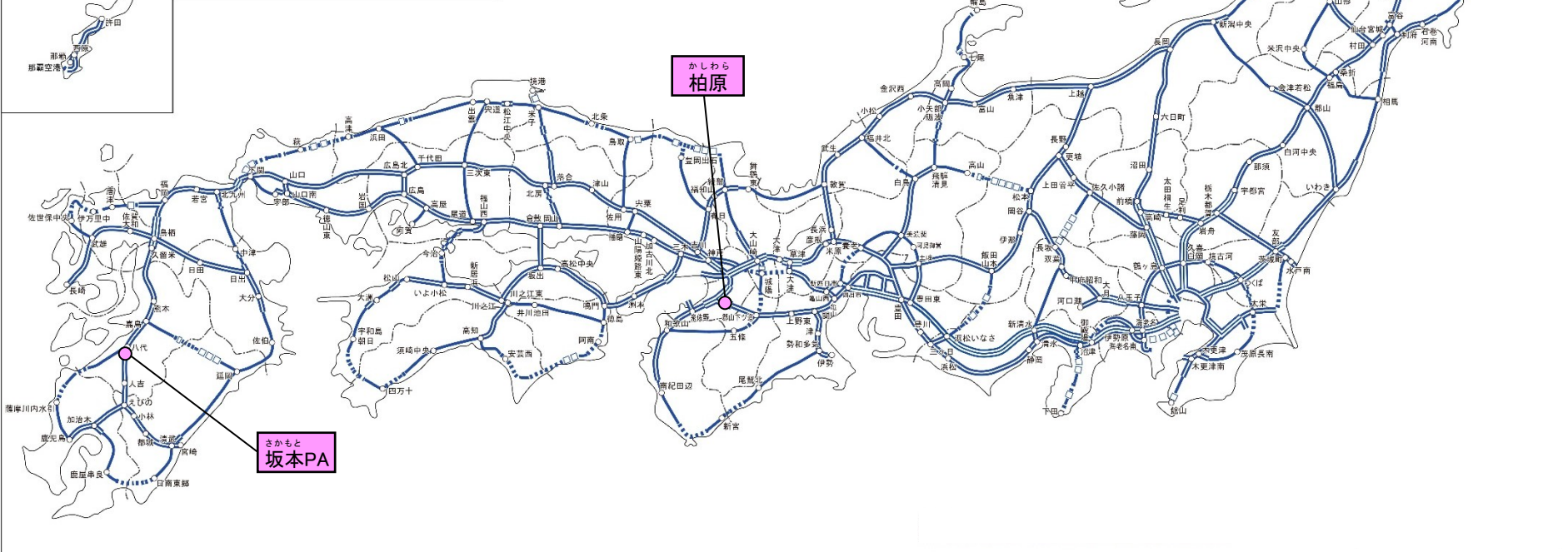
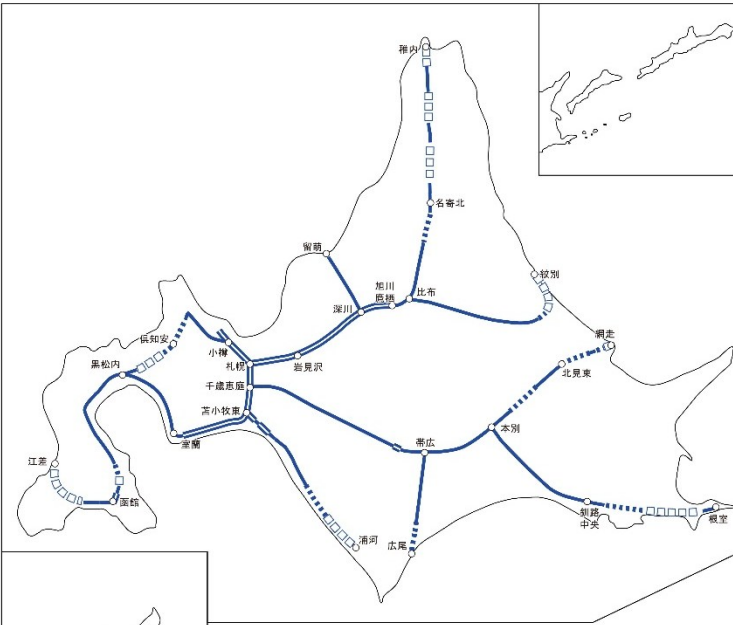
スマートインターチェンジの名称(仮称)※ ²	連結位置	路線名	事業主体
かしわら 柏原	かしわら はびきの 大阪府柏原市、羽曳野市	てんりすいた かしわら ふじいでら 近畿自動車道天理吹田線(柏原IC～藤井寺IC間)	NEXCO西日本 柏原市
さかもと 坂本PA	やつしろ 熊本県八代市	かごしま やつしろ ひとよし 九州縦貫自動車道鹿児島線(八代IC～人吉IC間)	NEXCO西日本 八代市

※¹ スマートインターチェンジとは、高速道路の本線やサービスエリア、パーキングエリアから乗り降りができるように設置されるインターチェンジであり、専らETCを搭載した車両が通行することを目的としたインターチェンジです。

※² スマートインターチェンジの名称は仮称であり、正式な名称は、地元や利用者のご意見等も踏まえて決定されます。



新規事業化箇所 2箇所



かしわら
柏原

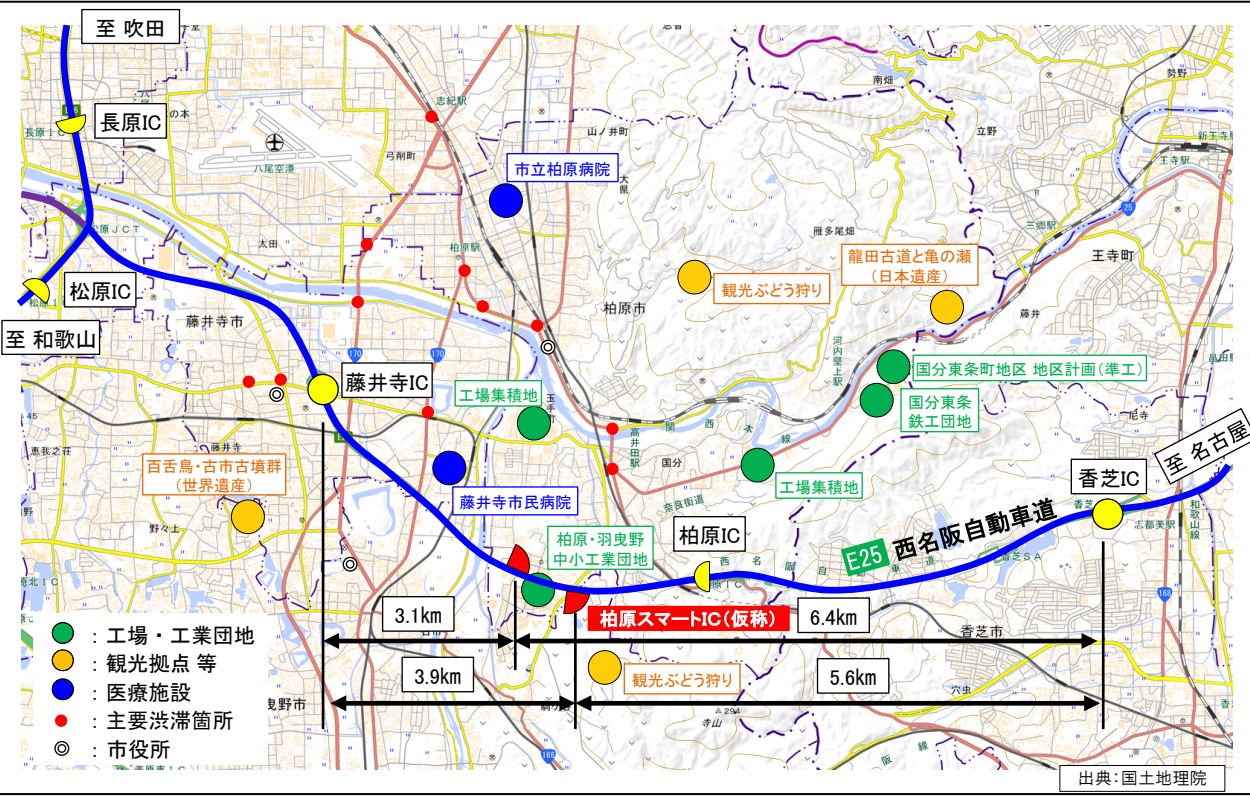
さかもと
坂本PA

■西名阪自動車道 柏原スマートIC(仮称)

<概要>

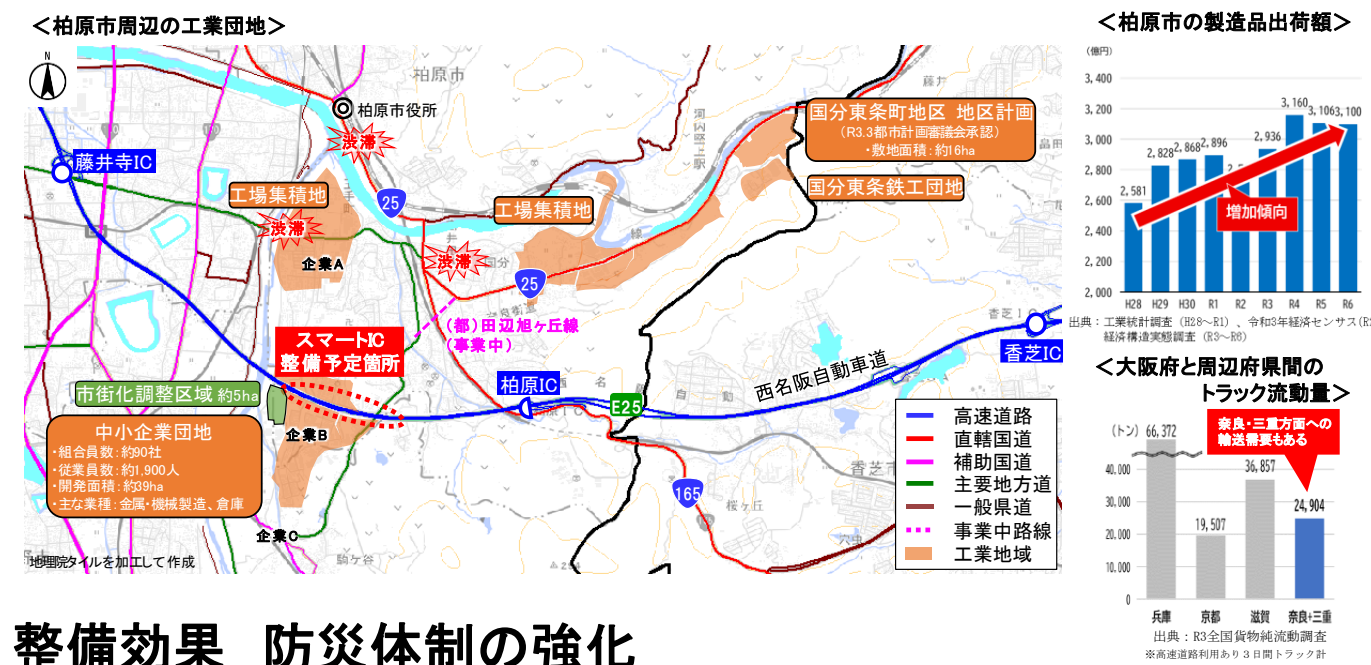
- 路線名：近畿自動車道天理吹田線
(柏原IC～藤井寺IC間)
- 設置場所：(上り線)大阪府羽曳野市
(下り線)大阪府柏原市
- 接続形式：本線直結型
- 形式：天理方面ハーフ (2/4)
- 運用形態：全車種 24時間

<位置図>



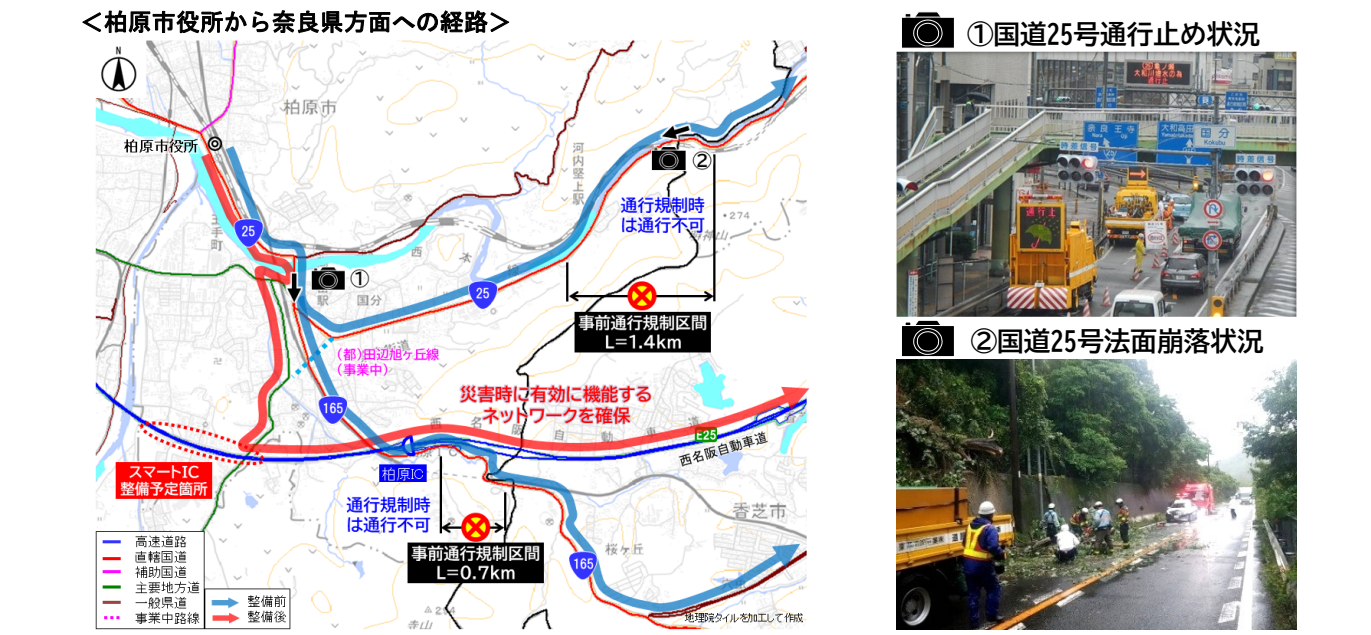
整備効果 地域産業の振興

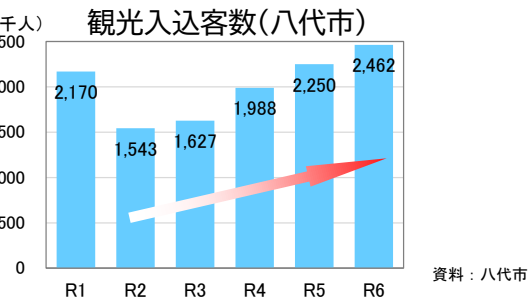
- ・柏原市内の幹線道路周辺には工業団地が多数立地し、令和6年の製造品出荷額は約3,100億円と近年増加傾向。大阪府と奈良・三重方面の物流は、京都や滋賀と同様に結びつきが強い。
- ・スマートICの整備により西名阪自動車道へのアクセス性が向上し、奈良方面への所要時間短縮により周辺工業団地のさらなる企業の活性化につながる。



整備効果 防災体制の強化

- ・東西軸である国道25号や国道165号には事前通行規制区間が2箇所存在しており、平成25年以降に7回通行止めが発生するなど、豪雨時には東西方向が寸断され、柏原市内の交通がマヒする事象が発生。
- ・スマートICの整備により、国道25号が通行止めとなった場合でも、西名阪自動車道が奈良県や名古屋方面への代替路となり、災害に強い道路ネットワークが構築される。





スマートインターチェンジ※1の新規準備段階調査着手箇所

別添④

スマートインターチェンジの名称(仮称)※2	検討位置	路線名
いわみざわ 岩見沢SA	北海道いわみざわ 岩見沢市	北海道縦貫自動車道 はこだてなよろ 函館名寄線(いわみざわ み 岩見沢IC～三笠 かき IC間)
あいおい 相生	兵庫県あいおい 相生市	山陽自動車道 すいたやまぐち 吹田山口線(たつのにし たつのにし 龍野西IC～あこう あこう 赤穂IC間)
たかざき やまだ 高崎・山田	宮崎県みやこのじょう 都城市	九州縦貫自動車道 みやざき 宮崎線(たかはる たかはる 高原IC～みやこのじょう みやこのじょう 都城IC間)

※1 スマートインターチェンジとは、高速道路の本線やサービスエリア、パーキングエリアから乗り降りができるように設置されるインターチェンジであり、専らETCを搭載した車両が通行することを目的としたインターチェンジです。

※2 スマートインターチェンジの名称は仮称であり、正式な名称は、地元や利用者のご意見等も踏まえて決定されます。

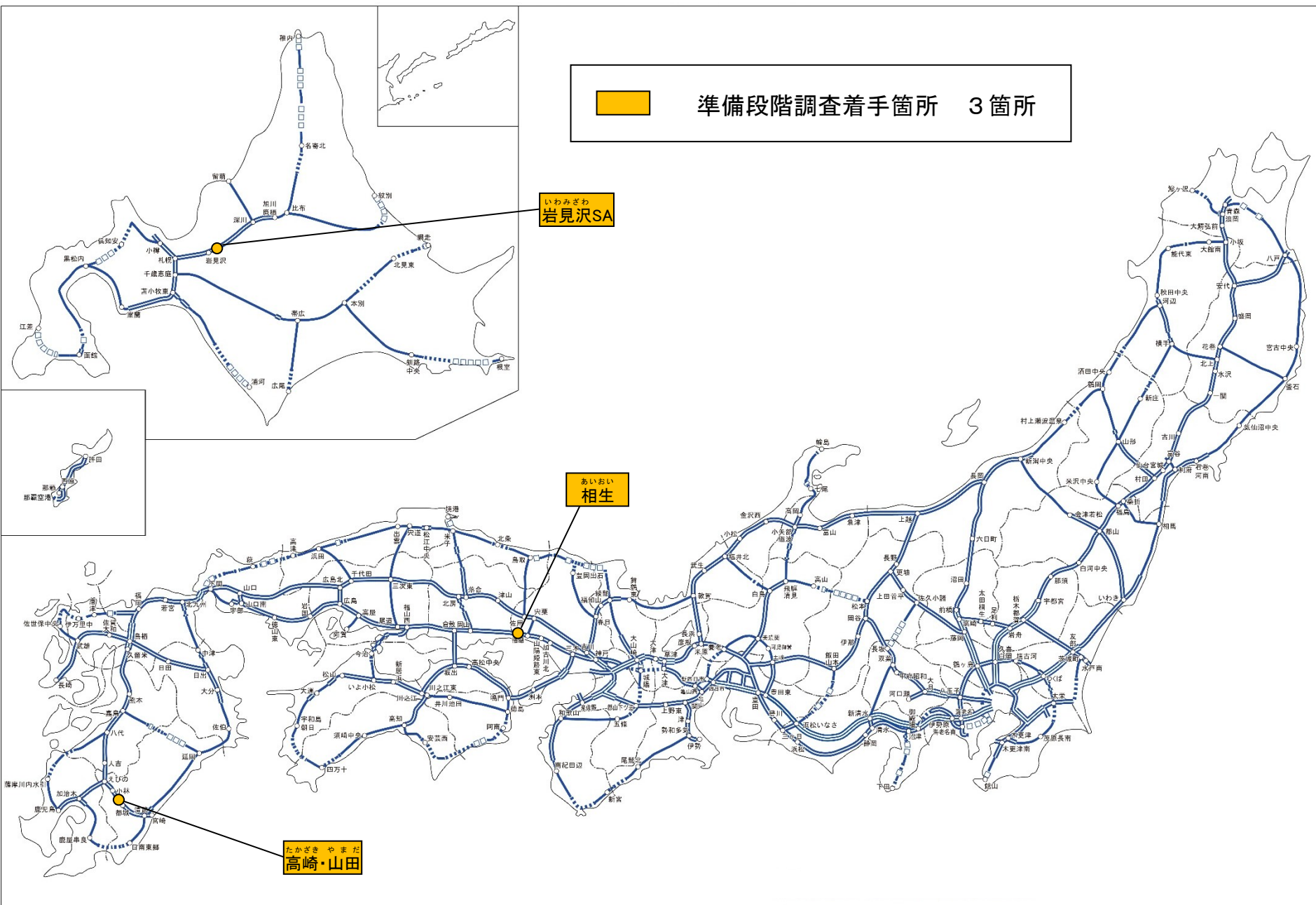


準備段階調査着手箇所 3箇所

いわみざわ
岩見沢SA

あいおい
相生

たかぎきやまた
高崎・山田



< スマートインターチェンジとは >

○スマートインターチェンジは、通行可能な車両をETCを搭載した車両に限定しているインターチェンジ

[SA・PA接続型]

→サービスエリアまたはパーキングエリアに接続

[本線直結型]

→高速道路本線に接続

○ETC専用のため、料金徴収施設を集約する必要がなく、コンパクトな整備が可能

○料金徴収にかかる人件費も節約可能

我が国の高速道路のIC間隔は平均約10kmで、欧米諸国の平地部における無料の高速道路の2倍程度



平地部でIC間隔を欧米並みの約5kmとなるよう整備を推進

開 通	167箇所
事業中	51箇所
準備段階調査	3箇所
(令和8年10月23日時点)	

< 負担区分 >

